

# いわみざわ



IWAMIZAWA

発行所 陸奥 岩見沢市 北空町 45-2721  
 電話 0126-45-2721

## 平成三年度スタート

平成三年度が時ならぬ降雪と暖かい日差しのもとでスタートしました。

駐屯地は、本年度も「健全な駐屯地」「魅力ある駐屯地」「地域に貢献する駐屯地」を目指して隊務を運営します。



岩見沢駐屯地司令 士 1等陸佐 寺村 誠

「健全な駐屯地」では昨年度飲酒運転事故や服務事故等散見された反省をふまえて月一回（八日）にノーカードを実行する等自律を基本としつつ最小限の規律を確実に守るよう統制してゆきます。

「魅力ある駐屯地」では、昨年度実施した技術的な環境整備と各部隊及び隊員家族を含めた各種行事を更に押し進め、テニスコートの前天候化（一面）パトミントンコートの新設、OBや地域の人々も加わった桜の植樹（春・秋）、駐輪場及び私有車駐車場整備等環境整備を実施するほか各種の駐屯地球技大会等を通して融和団結を図りたいと思つてい

ます。「地域に貢献する駐屯地」では、昨年度駐屯地隊員諸君の活躍により、地域の人々が岩見沢自衛隊を見直し、地域になくてはならない存在と意識し始めてきております。本年度は、昨年度の行事・支援を更に充実するとともに、新たに緑成園児の海水浴支援を行います。

今年度は、交通作業を隊務の基本に据え、団から命ぜられた北大演の恵庭・千歳地区を抜本的かつ恒常的に整備、演習場の荒廃を防止するとともに使用者に喜ばれる状態に維持します。

矢白別演習場整備から離れたのは残念ですが、今年も北大演で知恵と汗を流しましょう。御家族を含めた隊員諸官の積極的な取り組みをお願いいたします。

## 団冬季戦技競技会優勝

二月七日、折りからの吹雪をついて岩見沢駐屯地営庭及び孫別演習場を舞台として、平成三年度第三施設団（団長加藤 哲朗 陸将補）冬季戦技競技会が開催された。

競技会は、第一施設群（南恵庭）第十二施設群（岩見沢）第十三施設群（幌別）及び集成直轄部隊（団本部、第一〇五器材隊、第三〇三タンブ中隊）の四個チームにより、一般走、アオキ曳行機動、階級別リレーの三種目の合計タイムを競うもので、第十二施設群が九時間五十三分二十八秒で総合優勝の栄光を獲得した。



我が第十二施設群が予想通りの健闘をし、アオキ曳行機動の二位をはねかえした。総合優勝の栄光を手にした。

団冬季戦技競技会の岩見沢駐屯地での開催は、昭和六十四年度以来二年振りであり、第十二施設群は昨年の雪辱と地元の意地にかけても負けられず戦技隊長柚木一尉を中心とする六十五名の精鋭をもって「優勝」を合言葉に練成に励んだ。

我が第十二施設群は午前中の一般走（小銃十一キロの水筒携行）で二位に三分九秒の大差をつけて種目優勝。続いてのアオキ曳行機動（五十キロの土のう積載）四人引きは、戦前の予想通り各チーム熾烈な戦いとなり群は健闘したものの、十四秒差で二位となった。午後は雪もやみ、明るい日差しの中、他群が逆転を狙った階級別リレーであったが、



表彰式で第三施設団長から大優勝旗を授与された選手達は、終了とともに群長を胴上げし、二度三度と空中に舞う大きな体を見て全隊員が優勝の感慨に浸るとともに団結を強固にした。



団冬季戦技競技会の「優勝」は二年振りになるが「今まで自分やったことを信じ、頑張れ」を実践しての勝利は、戦技訓練隊長を核とした選手一同の必勝の信念に基づいた健闘と駐屯地全員の熱烈的応援により、人の和を結果として勝ちえた輝かしい成果である。

力を競い合い、競度の向上を図った。

競技会としてはあいにくの天気であったが、応援に参加していただいた七十名の岩見沢、三笠、月形、栗沢、北各市町村の人達の温かい大声援におくられ選手達は次々とスタートした。また、各中隊から入選された要員で編成された応援団は三三六中隊の宇山二曹を団長に、「必勝」のはちまきをしめ、胴着にはかまといういでたちでラップ、メガホンを使い、声をからさんばかりににぎやかな応援を繰り広げた。中でも岩崎三曹のユニークで元気ある声援は多くの人々の注目を集めるとともに選手にとっては大いに励みになった。

### 平成3年度岩見沢駐屯地主要行事案内

☆ダンスパーティー	4月19日	☆スナック写真展	9月14~16日	☆冬季運動会	2月下旬
☆駐屯地司令杯ゴルフコンペ大会	5月下旬	☆予備自衛官招集訓練	9月20~24日	☆意見発表会	3月中旬
☆駐屯地司令杯争奪少年野球大会	6月下旬	☆こぶし及びみみじ池遊歩道完成	10月中旬	★ この他にも行事を計画しております。行事近くには再度御案内します。ふるって御参加をお待ちしております。	
☆駐屯地司令杯争奪混合ダブルステニス	7月下旬	☆ダンスパーティー	12月中旬		
☆夏休み子供キャンプ	7月下旬	☆年忘れ大会	12月21日		
☆駐屯地盆踊り大会	8月初旬	☆新年交礼会	1月6日		
☆駐屯地創立記念行事	9月22日	☆成人祝賀会	1月中旬		

平成3年度 主要行事予定

期	1	2	3	4
総会	4.28			
隊友の集い		7.中旬		2.中旬
隊行事共催		9.22記念行事		1.6新年文礼会 3.中旬意見発表会
新聞発行	4.20発行	7.20発行	10.20発行 12.未発行	

最終部隊 岩見沢駐業  
(自宅) 岩見沢市南町四条二丁目  
電話〇二六二二四一七一五



副支部長 八文字 基次

最終部隊 岩見沢一三施設群  
現勤務先 本山測量事務所  
(岩見沢市七条東四丁目)  
専務理事  
電話〇二六二二四〇〇七  
(自宅)二三四七四二二

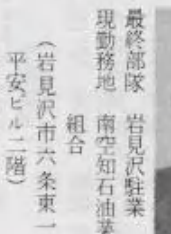


支部長 岡田 徹也

役員紹介  
今回は、支部長・副支部長を対象にし、次回は理事紹介を行います。

記

(岩見沢市六条東一丁目 平安ビル二階)  
電話〇二六二二五二九二二  
(自宅)二二三三八八六



副支部長 長崎 進

最終部隊 岩見沢駐業  
現勤務先 南空知石油業協同組合  
(岩見沢市六条西四丁目)  
電話〇二六二二七八九六  
(自宅)二二二二二二二



支部長 前田 健二



副支部長 安藤 雷夫

隊友会岩見沢支部

和気あいあいの隊友の集い

隊友会岩見沢支部では、平成三年二月二四日の日曜日を成三年二月二四日の日曜日を利用して、年間企画の隊友の集いを栗山町のホテルパラダイスヒルズで開催した。



ホテルパラダイスヒルズでの記念撮影

四〇名の参加者があり一二時三〇分出迎いのバス二台に分乗し、目的地に到着後はそれぞれ囲碁、マーじゃん、将棋、入浴など娯楽をして楽しい一時を過ごした。また、大掛氏が血圧測定を特別に実施し各人自己の血圧を確認するなど健康管理チェックをして安心して宴会に臨んだ。



ごちそうもたくさん



ゲームに興じる

一九時四〇分まだまだ時間には取りたいところだったが、心残りしながらバスに乗車し岩見沢へと向かった。参加者は異口同音にまたこのような企画をし、お互いに楽しく、元気に会えるようにし一人でも多くの会員が参加していた。



カラオケもはずむ



マージャン、囲碁、将棋



真剣なまなざしで競技開始

ボーリング大会を開催

平成三年九月九日一四時から隊友会親睦ボーリング大会をホテルターホーボール(西友五階)で開催した。会員二十七名が参加し、日頃の腕前を競ったが、時にはガスター持除をしたりまぐれでストライクになったりで、その都度歓声が上がって童心に帰り心算あいのうちに競技を終了した。



ゲーム優勝



歓談のひととき



優勝した池田さん

お知らせ

あとがき

隊友会岩見沢支部は、年を数えることに自衛隊の定年退職者も増加し、現在一二〇数名が会員として支部事業に参加している。

岩見沢地区での退職者は、今後とも是非当支部に入会されるようお願いしております。今年度から当機関紙にOBの事業やお知らせ事項を掲載しますので、ご覧ください。

皆さんの新聞として何かご意見または寄稿することがありますしたらぜひ事務局(竹本重幸)まで一報くださるよう宜しくお願いいたします。この機関紙は、年四回発行する予定です。次回原稿締め切りは六月二〇日です。

機関紙編集委員  
長崎 進  
竹本 重幸  
川東 岩男

### 第十二回全道ハンディキャップ スキー大会を支援して



第337施設中隊長 1等陸尉吉田 吉彦

中隊長は、検閲として第十二回全道ハンディキャップスキー大会支援を命ぜられ、十二月下旬以来、市の実行委員会総務部を窓口調整を重ね、気象に翻弄されながらも我々がコースを作るんだという気概で僅かの隊力も極力投入し、二月二十一日から三月一日の五日間は、各中隊の支援を得て大々的に終夜まで集中的に作業を実施し、自衛隊の隊力と技術、市実行委員会の経済力と競技部の技術指導のお陰で、絶賛されたアルペンとタロスカントリー各会場を三月一日に完成した。



例年に無い雪不足の岩見沢で、大会の中止も危ぶまれていたが、これを実行に導いたのは、南城一曹以下のクロカン係の諸官の先行的で地道な雪集めと、積雪十センチしか無かった秋の山スキー場のゲレンデに三十センチ以上の雪を駆使して運び上げた松井曹

この大会を支援して、自衛

長のスキーバトロール員としての人望とアルペン係、運搬班諸官の雪にも寒さも屈せぬ地味な奮闘とスキー場関係者の熱意ある積極的な共同作業の賜物である。

大会後、選手の方々からの大きな感謝と三笠の宮からの恩賜の日本酒と菊の御門入りたばこに充々の感動を得た。



### 除雪部外工事 三十六年間に終止符

第十二施設群は、十二月三日から三月十九日までの間、岩見沢市道及び北村道の一部の除雪工事を実施し、任務終了により三月十九日、十五日に、それぞれ工事引渡し式を終えて全員元気に帰隊した。



北村道 除雪工事引渡し式

平成三年度からは、岩見沢市の排雪支援を行うこととしている。

本年、最後の工事を担当した皆様本当に御苦労様でした。工事の成果

岩見沢

第三二施設器材中隊 追田二尉以下八名

市道場ヶ丘線・上志文線等 除雪実施日数三十五日

北村

第三二施設器材中隊 福原一曹以下十二名

砂浜線、北二、五、六線等 除雪実施日数 五十日

自作ソリ大会に参加して 第三七施設中隊 三陸曹 大谷 祥一

私は、二月十七日岩見沢市で催された岩見沢トカ雪祭りの自作ソリ大会へ参加しました。

タイトルは「恐怖の腕立て伏せ男」と言い題名でエンタリーし、内容は上半身Tシャツ一枚の服装で、両手にミニスキーを付け、洗面器に両膝を乗せて腕立て伏せをしながら滑降するというものでした。私としては、少ない予算で目立てはよいと安易に考えて参加したのですが、他の人達を見るとそれぞれ趣向を凝らし、忙しい中にも精一杯自分たちの特徴を出そうとしていた姿勢に接し、中途半端な気持ちで参加した自分がとてもはにかみ、他の参加者に申しわけない気持ちで一杯になりました。



ソリ大会風景

### 岩見沢(十二施設群)の思い出



第312施設器材中隊長 1等陸尉 木村 義人

三月の定期異動で、十二日に居る岩見沢(十二施設)での勤務を終え転出することになりました。

思えば岩見沢駐屯地に赴任してきて以来、色々な思い出がありますが、当初の七中隊の小隊長として勤務しているころ、大雨の中、全員が膝まで泥水につかりながら完成させ、当時の団長から「一体構築は団内随一である。一とお

岩見沢(十二施設群)の思い出

岩見沢(十二施設群)の思い出

岩見沢(十二施設群)の思い出

岩見沢(十二施設群)の思い出

岩見沢(十二施設群)の思い出

岩見沢(十二施設群)の思い出

### 岩見沢市道除雪工事引渡し式



岩見沢市道除雪工事引渡し式

岩見沢市道除雪工事引渡し式

富士火災 車検費用積立プラン 担当 松浦直樹 岩見沢支社 TEL 23-5142

株式会社 本堂建設工業 取締役社長 本堂 春夫 本社 三笠市規春別町4丁目 電話 (01267) 76-8288 FAX (01267) 6-8030

宝石創業83年 貴金属 防衛庁共済組合岩見沢支部契約店 (株)太田時計眼鏡店 岩見沢市1条西4丁目 TEL 01262-3353 23354

とが雪祭り支援に参加して



第335施設中隊 陸士長元直樹

岩見沢市で開かれた第一回とが雪祭りが二月の十六日十七日に開催された。

どが雪祭りが開催するにあたり岩見沢自衛隊が全面協力し、約一カ月前から作業が始まった。

その内容というところ、今年は、雪が少なく普段は豪雪地帯岩見沢で有名なすなのに、整地するの雪が少なくタンブで雪を会場まで運搬した。

子供たちが滑る雪で作った滑り台、自作ソリで使う坂、会場のステーション、雪像作りの雪などが岩見沢自衛隊の支援内容です。

その中でも一番苦労したのは、子供たちの滑る滑り台だった。雪を一番必要とする物だけに雪をかきあつめ、固め、階段をつけ、滑るところを掘

団冬季戦技競技会に参加して



第336施設中隊 陸士長多田正樹

またまた登場することになった六中多田士長です。

六中の付准尉岸良曹長から団スキー競技会について書いてくれないかと言われて私は、また書くのですか、と言うと鬼瓦のような顔をした岸良曹長がまあそりいわんと書けと言われたのでおもわず



「ハイ」と返事をしました。今年の団スキー競技会の開催地は、地元岩見沢と言うことで十二群あけての大会や岩



岩見沢市あけての大会のように結果は、十二群が接戦の末優勝することが出来ました。

水をかけて固めて一番時間がかかり大変だった。苦勞して作り上げた、たくさん物が完成し、とが雪祭り当日がやってきた。当日まで雪不足だったのに、雪が降り風がでてきて地吹雪になる災難だった。吹雪のせいかわれら岩見沢自衛隊が一丸となって、支援し参加した。

大会当日は、悪天候で吹雪の状態となり最悪なコンディションでした。まず最初に一般走のスタートとなり前半は大接戦でやや、十二群がおされてやばいなあとという声がかれました。

しかし、中盤から後半にかけて貯金を三分ぐらいにし、逆転することに成功しました。でも三分といっても何かのブニングがあれば、すぐにやられるということで油断大敵でした。

プロも出し勢に乗ってきました。残すは、花の階級別私もこれに出場するので気合が入っていました。

履修前教育を終了して



第312施設器材中隊 陸士長河原康史

履修前教育が終わわり、これから一曹教又施設学校へと入校になります。

履修前教育が終わり、これから一曹教又施設学校へと入校になります。中でも、体力があるわけではないし、学力が優れているわけでもありません。

耐寒トライアスロンに参加して



あの日、寒い日でした。いま思うだけでも嫌になるくらい寒かった。そんな日に耐寒トライアスロンは、実施されました。

自分、寒いところが苦手なので早くに脱落しようと思

もの、トライアロンで十二群が優勝しました。私は、十二群の勝利はもとより何か岩見沢市の勝利のような感じがしました。

務が成り立たないと思ひ、まずは履修前教育に真剣に取り組み、今後陸曹としての自覚を少しでも身につけたいと思いました。



第335施設中隊 陸士長西村貞幸

した。三ラウンド目は、三分の時間制限で、素手でどれたけ雪を高く積めるか、という競技で自分はトップ成績(一メートル九十九センチ)でこのラウンドも軽くクリアした。

三ラウンドで脱落した選手もかなりいて残ったのは、半数近くとなりました。ここまではいよいよとほななかつた。

決勝ラウンドに進出できたのは、精鋭五人一騎当千の強者ぞろいでした。もちろん自分もこの中にいました。

ある空瓶をとり、スタート位置まで戻ってそこで旗を取る。ここで二名脱落。残りは二ラウンド目に駒を進めました。

東邦生命 担当 深沢 隆子 (内327)

時代を一步リードした 中庭のあるモデル住宅 柏崎建設株式会社

千葉電気工事株式会社 代表取締役 千葉 嘉男

# ファミリーコーナー

## 中隊厚生旅行に 参加して

第三三六施設中隊  
上杉一曹夫人  
上杉 加代子

仕事から戻った主人に「今年の厚生旅行は家族も参加できるとどうする？」と聞かれ、少し迷いましたが参加することに決めました。哲平(二歳)と太(三カ月)の子連れ旅行です。この不安、親の心配を他所に息子は大喜びです。当日は吹雪模様でしたが、期待と不安を乗せバスは駐屯地を出発し、洞爺サンパレスに到着しました。早速、主人と息子は温泉へ、私は次男を寝かせ、やっと一息着きました。これから二日間は家事を離れ、のんびりと時間を過ごす



## 隊員紹介



第336施設中隊  
3曹 松田茂雄

通称「DJ松田」と呼ばれる三三六中隊の松田茂雄三曹

を紹介します。  
当地、岩見沢の出身で、昭和六十二年三月中隊配属、趣味は「レトロ」。昔前のバイク、乗用車の収集家として一家言を持ち、昔風の物を愛する古くい男です。  
現在、職務はDJ兼操縦隊曹又、副分隊長として、又、スキー、銃剣道、持続走の群の

ございました。本当なら主人一人だけの方がゆっくりと骨休めもできたのに、私達の為に心よく参加を勧めてくれた主人に「ありがとう」の気持ちで一杯です。  
これからは、仕事も忙しくなるとは思いますが健康に気をつけてがんばって下さい。私も家では仕事の疲れを癒せる様に心掛けたと思います。  
あの日以来、息子はテレビでサンパレスのCMを耳にする「哲平行ったぞ。」「お父さんとプールの滑り台で遊ぶで楽しかったね。」と語り掛けて来ます。その表情を見るにつけ参加して本当に良かったと思っております。

## 膨らむ夢と希望 子らよ忘れずに

本部管理 中隊  
村形一曹夫人  
村形 いづみ



自然に思われたこの北の地に主人と二人の子供たちと家庭を持ち、私はここで一生懸命頑張ろうと、いっぱい夢を持っていました。  
そして、結婚後八年、この町で生まれた長男も今春小学校に入学する。多くの経験と選手として、まさに八面六臂の活躍ぶりです。若手のリーダーとして頑張っています。  
今年九月で二十七年と適齢期を迎へ、管内でくすぶらないで、そろそろお嬢さんの声を無視しつづけて青春を謳歌している中隊一ダンサーを隊長です。  
担当は付準備中でした。

大切な友情を胸に、あれもよし、これもよしと夢や希望がきつと、いっぱいなのだから、そんな様子を見つめて、いるとうれしくなりました。  
そして、最初の気持ちを日々の生活の中で次々と忘れていく自分に気づく。子供たちに今のこの気持ちを忘れずに努力してほしいと思う。それが必要なのだからと思う。  
私にはもう入学式をそして、私自身、自分らしく生きていくための出発の時でしょう。いつの時も夢と喜びと感謝の心をもって歩きたい。いっぱい雪が解けてまぶしい太陽の下で笑っている子供たちの顔が、みんなの顔がバラ色にありまうように。

## 所感 羽根寅造

寿大学も開設以来今年で十七回目でございます。  
私は今年妻と二人で交替に出席する予定でしたが、この交替出席は、何故かと言うと私には高輪の母が居りますからです。  
でもいざ入学してみると、段々面白味が増して、一回でも多く出席したくなり、妻にも多分出席しなさいと、妻には申し訳ないと思いましたが、妻の方が欠席勝ちになりました。  
北村の寿大学は、年々学生数も増加し充実して参りました。今年には倶楽部活動も手工芸、陶芸と二クラブも多くなりました。  
今年私はスポーツクラブではなく、陶芸クラブに入部させて頂きました。岩見沢の自衛隊駐屯地から二人の講師を迎え、その教務関係を片倉係長に受けて頂きました。  
毎回来して学習させて頂き、最初場手に挑戦しました。なかなか上手に出来ず、講師先生に大変迷惑をかけたのですが、段々と形が出来、粘土が湯呑になるかと思うと胸が踊りました。  
一回目の窯入れと窯出しは休まりましたので、皆さんに迷惑が掛かったと思いますが、最初に焼き上がった作品が出来た時の感激は、今までも忘れる事が出来ません。  
次に部活動の作品の色付けでしたが、何を教わるにしても初めです。どの色付けがどの様に焼けて色を出してくるかも知らず、唯黙々と云われるままに、手作業で頭張りました。  
十月十八日には、二回目の仕上げの窯入れとなり、部員一同真剣に作業に取り組み、文化祭に出品出来る日を、夢見る心地で一杯でした。  
十三日の窯出しの日でしたが、その何日前に小学校の作品を焼いたとの事で、私達の作品はすでに窯出しされておりました。  
早速自分の作品を手にした時の、皆さんの嬉しそうな顔、これが粘土で皆さんが丹精込めて造った作品かと、皆さん喜びで一杯でした。  
その作品の色といい形とつや等、本当に自分ながら良い作品が出来たと思いい、これなら文化祭にも大勢張りて出品出来るんと手を取り合せて喜びました。

文化祭では太田先生に名札を書いて頂き、クラブ員の中では、出品数は四品の人五品のの人などの違いがありました。が、それぞれ出品展示出来た事は、何を言っても講師北野渡辺両先生の指導の賜物と深く感謝しております。  
一度陶芸に挑戦してみたいと思っておりますが、その宿願も達成出来ましたので、充実感で一杯です。  
来年は、もっと良い作品をと、思いを走らせるとともに一人でも多くの部員の参加をと思っておりますが、ただ場所が狭いので困った事だと思いたが、ラベンを置きます。  
次いで部活動の作品の色付けでしたが、何を教わるにしても初めです。どの色付けがどの様に焼けて色を出してくるかも知らず、唯黙々と云われるままに、手作業で頭張りました。  
十月十八日には、二回目の仕上げの窯入れとなり、部員一同真剣に作業に取り組み、文化祭に出品出来る日を、夢見る心地で一杯でした。



安心とゆとりのプラン  
協栄生命 **LLワイド** 15 50 100  
担当: 田村純子・江原早苗 更新型  
余裕資金を上手に活かして大型保障  
協栄の保険料額金制度をご利用ください  
定期特約付終身保険  
協栄生命保険株式会社

**近江建設株式会社**  
特定土木建設許可・一級建築士事務所  
本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026  
支社 三笠市唐松町1丁目374 電話2-3179  
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目  
ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359  
営業所 三笠市幌内本沢町 電話2-5403

**自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部**  
事務局: 岩見沢市商工会議所内  
支部長: 三谷栄一  
TEL: 0126-22-3445

# 人事往来

## 第十二施設群

道外	一尉 吉田 吉彦(勝田)	一尉 中司 博之
一尉 榎木 義人(飯塚)	(五施設群)運用訓練幹部	
一尉 大川内 勝之(古河)	一尉 佐々木洋一	
三尉 北川 真(横須賀)	(三四二箇中)建設幹部	
一曹 有馬 民男(小郡)	○本部管理中隊へ	
二曹 原澤 浩(新町)	一曹 山口 治次(南恵庭)	
二曹 原 力夫(出雲)	三曹 増川 政司(名寄)	
二曹 大石 健士郎(小郡)	○第三三施設中隊へ	
道内	三尉 嶋口 英樹(東千歳)	
一尉 傳法 和美(札地連)	一曹 小柳 隆(名寄)	
曹長 山口 清(南恵庭)	二曹 長谷川 一訓(名寄)	
曹長 佐藤 清秋(名寄)	○第三三施設中隊へ	
一曹 菅原 正道(南恵庭)	二尉 鈴木 英明	
一曹 福原 一年(名寄)	(十施設群)副中隊長	
一曹 薄江 武雄(名寄)	○第三二施設器材中隊へ	
一曹 赤井 満(名寄)	一尉 中村 一國	
二曹 谷内 俊昭(名寄)	(札地連)中隊長	
二曹 小原 三男(名寄)	二曹 宇田川 雅美(名寄)	
二曹 栗田 信也(南恵庭)	一曹 深尾 高明(名寄)	
三曹 菅原 雄志(名寄)	二曹 菊地 勝博(名寄)	
三曹 倉園 武敏(名寄)	三曹 竹下 明宏(名寄)	
○業務諸隊	一尉 川崎 大輔	
一尉 山本 繁一(札幌)	(業務学校)会計隊長	
二尉 横山 忠由(上富良野)	二尉 大川 誠一	
三尉 松崎 延男(南恵庭)	(自衛隊札幌病院)厚生班長	
三尉 田中 和信(練馬)	一曹 松山 昌文(宇都宮)	
三尉 板山 敬次郎(鹿追)	駐屯地内異動	
三尉 本堂 吉昭(帯広)	一曹 小林 真	
三尉 伊木 正明(遠軽)	(業務隊)本部管理中隊	
三尉 真鍋 昭彦(南恵庭)	(業務隊)第三三施設中隊	
三尉 池端 秀幸(札幌)	二曹 八木橋 豊	
	(第三三施設中隊)業務隊	

## 第三回 方面美術展入選

陶芸の部	三尉 黒滝 信恭
特選	一曹 小林 実
入選	一尉 古橋 治夫
	一尉 幸田 稔
	三尉 三島 辰雄
	三曹 渡辺 衛
	二曹 大沢 栄
	二曹 村形 利昭

## 部外競技会で活躍

札幌国際スキーマラソン大会	三佐 佐々木 孝二
	一尉 大河内 勝之
	三尉 神田 務
	曹長 佐藤 清秋
	一曹 北山 幸一
	二曹 山口 和人
	二曹 小見 一仁

## 栄光をたたえて

三級賞詞	一尉 榎木 義人(3・22)職
第十二施設群	曹長 田中 均(3・22)職
	一曹 有馬 民夫(3・22)職
四級賞詞	第十二施設群
	第三三施設中隊
	三曹 村田 正隆(3・4)車
	第三四二施設中隊
	二曹 清水 謙二(3・4)車
	第十二施設群授賞
	一尉 傳法 和美(3・22)職
	本部管理中隊
	准尉 北野 一年(3・22)職
	二曹 中川 由(3・22)職
	二曹 宮崎 博之(3・22)職
	第三三施設中隊
	二曹 宮崎 勝彦(3・22)職
	二曹 林 勝則(3・22)職
	三曹 吉田 光広(3・22)職
	第三三施設中隊
	三二器中 長田 篤

## 自衛隊入隊に思うこと



第327会計隊 昇 福原 昇 陸士 3等 1

私は、自衛隊に入隊する三月二十八日、その直前の日までは「自衛隊にだけは入りたくない」と考えていました。

## 合格指定おめでとう

一般幹部候補生 4・1  
陸曹候補生 4・1  
三三施設中 本田 武史  
三三施設中 多田 正樹  
三三施設中 五十嵐 英樹  
三三施設中 石井 篤  
三二器中 長田 篤

## 厚生旅行の思い出



第335施設中隊 陸士 花上 昭 治

中隊は、定期異動に伴う転入者と任期満了で退職する退職者の送別会と中隊の団結、士気高揚を図る目的で三月四日、六日の間、洞爺サンパレスに厚生旅行に行きました。

## 新婚さん

おめでた  
二曹 阿部 正義 3月23日  
尚子

空知道民スポーツ大会  
三十歳以上の部八キロ  
優勝 二曹 山口 和人

二曹 阿部 正義 3月23日  
尚子

.....だから  
二人の時間を刻みたい  
よろしければ.....

Iwamizawa  
Heiankaku  
Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143

— コニカカラー百年プリント —  
カラープリント45分仕上げの店  
カメラの田沢  
ビデオ  
各種クレジットカードOK  
岩見沢市1条西4丁目 ☎22-4848

サンブラザウエディングプラン  
エメラルド  
挙式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格!  
ご両家ご負担 25万円  
ホテルザンブラザ  
岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788